

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	千葉智子
	全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	4255 就学支援事業											
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費										
	事業	020000 就学支援事業										
事業目的						事業概要・効果						
須坂市就学相談委員会条例に基づき、心身に障害のある児童及び生徒の適切な就学を図る。						就学相談委員会の体制整備 ①就学相談委員会の開催 ②就学相談小委員会の開催 ③校内就学相談委員会の開催 ④特別支援教育コーディネーター等連絡会全体会の開催						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	市内小・中学校及び教育相談専門委員会より提出された資料を基に、当該児童・生徒の就学に関し協議し、判断を行い、当該児童・生徒にふさわしい学級・学校への進路を決定することができた。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
市内小・中学校及び教育相談専門委員会より提出された資料を基に、当該児童・生徒の就学に関し協議し、判断を行い、保護者への十分な説明に努め、当該児童・生徒にふさわしい学級・学校への進路を決定することができた。	就学相談委員会の体制整備をし、適切な就学を図るための相談事業を行う。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		388	558
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		388	558
人員数(人)	正規職員	0.1	0.3
	嘱託職員	0.5	0.5
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	685.8	2,057.4
	嘱託職員	1,362.5	1,362.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,048.3	3,419.9
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		2,436.3	3,977.9

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	14	特別支援学校訪問土産 14,000円
11節 需用費	63	消耗品 42,830円 食料費 19,758円
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	311	就学相談委員会委員報酬 269,750円 備品購入費(WISKIV) 37,800円 ほか

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	34	研修会講師謝礼 20,000円 特別支援学校訪問土産 14,000円
11節 需用費	86	消耗品費66,000円 食料費 20,000円
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	438	就学相談委員会委員報酬429,000円 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	心身に障がいのある児童生徒の適切な就学（学級・学校）を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	小中学校及び教育相談専門委員会より提出された資料を基に、当該児童生徒の就学に関し協議し、判断を行い、当該児童生徒にふさわしい学級・学校への進路を決定する。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	就学相談委員会の体制整備	

振り返り（決算年度の取組み課題）

心身に障がいのある児童生徒の適切な就学（学級・学校）を図る。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
児童生徒の就学に関し慎重な協議を行い、保護者への十分な説明に努める中で、当該児童生徒の適切な就学を決定する必要がある。		保護者の理解を得るなかで、児童・生徒の心身の状況に応じた適切な就学援助を今後も継続していくことが必要である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	